

平成24年度病虫害発生予察予報第5号(8月)

平成24年8月3日
高知県病虫害防除所

《予報の概要》

作物名	病虫害名	予想発生量
水稲(普通期稲)	いもち病 (葉いもち、穂いもち)	やや多
	紋枯病	少
	ツマグロヨコバイ	並
	セジロウンカ	やや多
	ヒメトビウンカ	並
	トビイロウンカ	並
	ニカメイガ	少
	コブノメイガ	少
	フタオビコヤガ	並
	斑点米カメムシ	やや多
カンキツ	そうか病	並
	黒点病	並～やや多
	かいよう病	並
	ミカンハダニ	やや多
	カメムシ類	並

I 気象予報(高松地方気象台7月29日発表)

＜予想される向こう1か月の天候＞ 7月30日から8月29日

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並または高い確率40%です。2週目は平年並または高い確率ともに40%です。

＜確率＞

(単位: %)

期 間	要 素	予報対象 地 域	低 い (少ない)	平 年 並	高 い (多 い)
1ヶ月	気 温	四国地方	20	40	40
	降 水 量		40	30	30
	日照時間		30	30	40
1週目	気 温	四国地方	20	40	40
2週目			20	40	40
3～4週目			30	40	30

＜予報の対象期間＞

1ヶ月： 7月28日(土)～ 8月27日(月)

1週目： 7月28日(土)～ 8月3日(金)

2週目： 8月4日(土)～ 8月10日(金)

3～4週目： 8月11日(土)～8月24日(金)

II 病虫害発生予想

1. 水稻(普通期稲)の病虫害

1) いもち病(葉いもち、穂いもち)

予 想 発生時期: 並 / 発生量: やや多

根 拠

- (1) 巡回調査では県中央部～西部で平年並～やや多の発生が見られ、特に中山間地域の一部ほ場で進行型病斑が確認されている。
- (2) 向こう1か月の気象予報では気温は高めで、日照時間も平年並か多いと見込まれることから、現状の発生から大きな増減なく推移すると予想される。

対 策

- (1) 気象や発生状況に注意し、進行型病斑を認めたら収穫前使用日数と周辺への飛散に注意しながら速やかに薬剤散布を行う。特に上位葉への発病が多いときは、穂いもちが増加することから、出穂前を目安に薬剤散布を行う。
- (2) 窒素過多は発病を助長するので、穂肥の施用は稲の生育状況を見ながら適切に行う。

2) セジロウンカ、トビイロウンカ

予 想 発生時期: 並 / 発生量: (セジロ) やや多 (トビイロ) 並

根 拠

- (1) セジロウンカが県中央部～西部の予察灯に飛来が確認されており、ほ場調査でも県全域で発生が確認されている。トビイロウンカはほ場調査では発生は見られなかったが、西部の予察灯で飛来が確認されている。

- (2) 向こう1か月の気象予報では高温・少雨が続くことから、セジロウンカは増加傾向で推移することが予想される。さらに九州、中国地方などへのウンカ類の飛来情報も寄せられていることから、セジロウンカ、トビイロウンカともに、今後の発生推移に十分注意が必要である。

対 策

- (1) 異常飛来等で、成虫数が株当たり5頭以上になったときは、周辺作物への飛散防止に努めながら薬剤防除を行う。

3) 斑点米カメムシ

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多
根 拠

- (1) 早期稲でのすくい取り調査では、ほ場当たりの平均虫数は平年よりやや多く、斑点米産出能力の高いミナミアオカメムシやクモヘリカメムシ等の発生が見られる。
(2) 向こう1か月の気象予報では高温、少雨が続くことから、斑点米カメムシは増加傾向で推移すると予想される。

対 策

- (1) 出穂10日後及びその5～7日後あたりの加害が斑点米の発生に大きく影響することから、この時期に防除を行う。薬剤防除の際には収穫前日数に注意して薬剤を選定し、周辺への飛散防止に努める。

2. カンキツの病害虫

1) 黒点病

予 想 発生時期:並 / 発生量:並～やや多
根 拠

- (1) 現在、温州みかんでは発生は少なく、県中央部～西部の中晩柑類(主に土佐ブントン)で発生がやや多くなっている。
(2) 向こう1か月の気象予報からは発生を助長するような要素は少ないが、既発ほ場が多く今後とも注意が必要である。

対 策

- (1) この時期は感染源となる枯枝量が増加する時期であり、できるだけ枯枝を除去するとともに、防風林の整備等、枯枝の発生が少なくなる管理に努める。
(2) 前回の防除からの累積雨量が250mmを超すか、25日以上経過した頃が、次の薬剤散布の目安である。

2) かいよう病

予 想 発生時期:並 / 発生量:並
根 拠

- (1) 現在、県東部、中西部～西部の中晩柑類で、平年並～やや少の発生が見られる。
(2) 向こう1か月の気象予報から、発生を助長する要素は少ないが、既発ほ場では今後とも注意が必要である。

対 策

- (1) 降雨前の予防及び降雨後の蔓延防止のため薬剤散布を行う。なお、薬剤防除の際は周辺の作物に飛散しないように注意する。
(2) 発病している葉や枝は剪定し、ほ場外へ持ち出す。

3) ミカンハダニ

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多
根 拠

- (1) 現在、温州みかん、県全域の中晩柑類で、平年並～やや多の発生が見られる。

- (2) 向こう1か月の気象予報から高温、少雨であることが予想されており、今後はやや増加傾向で推移するものと思われる。

対 策

- (1) 夏ダニ（6月～8月に発生するダニ）は30%の寄生葉率を目安に、薬剤耐性を防ぐために同じ種類の薬剤の連用を避け、飛散防止に努めながら散布ムラがないよう丁寧に防除する。

県民の皆様に提供する農作物の病虫害防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

1. **病虫害防除所ホームページ**（こうち農業ネット）：<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/byoki/boujosho/>
 - ①病虫害発生予察月報、病虫害発生予察予報
 - ②病虫害発生予察注意報、病虫害発生予察警報、病虫害発生予察特殊報
 - ③病虫害発生予察技術資料
 - ④新しく問題となっている病虫害 etc.
2. **こうち農業ネットサービス**※ ※当方で提供する情報の閲覧は無料です（通信料は別途必要となります）。
 - ・携帯電話を使った病虫害関連情報（どなたでも利用可能です）
 - <http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/i/>（Iモード）
 - トップメニュー→地域情報→タウンガイド・行政→高知県庁メニュー→農業情報：（ezweb）
 - 四国メニュー→タウン情報・行政→高知県庁メニュー→農業情報：（ヤフー）
 - ①病虫害発生予察情報（概要）